

経営比較分析表（平成28年度決算）

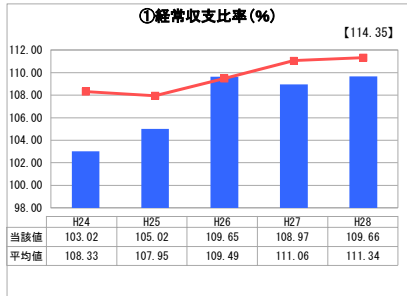
岡山県 里庄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	90.01	93.85	3,402	

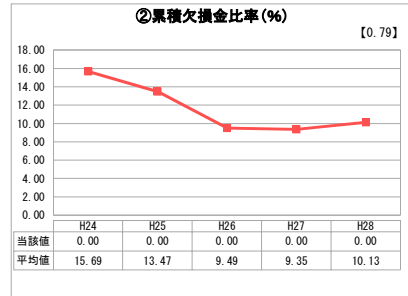
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,212	12.23	916.76
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,515	12.23	859.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

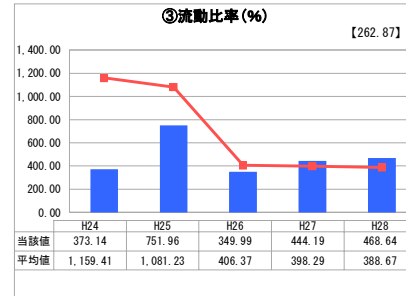
1. 経営の健全性・効率性



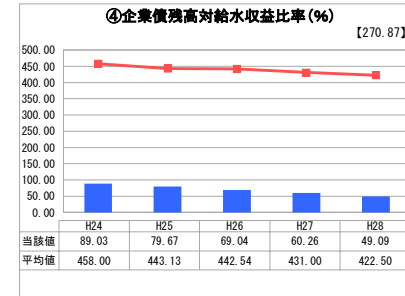
「経常損益」



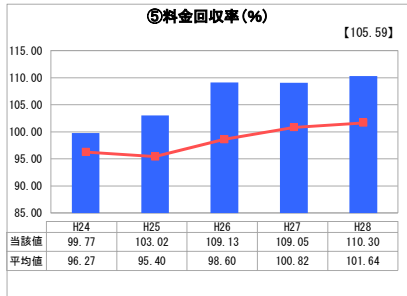
「累積欠損」



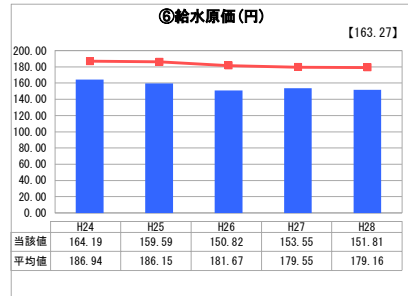
「支払能力」



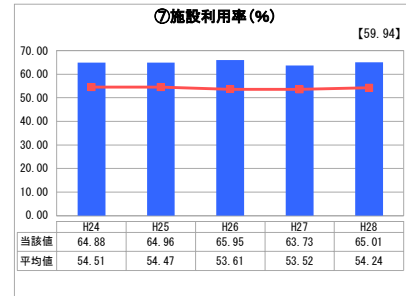
「債務残高」



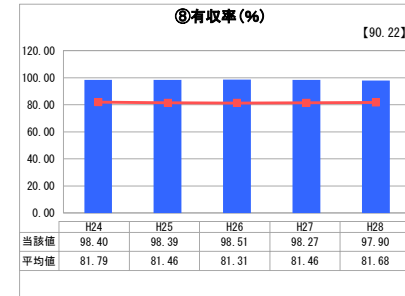
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

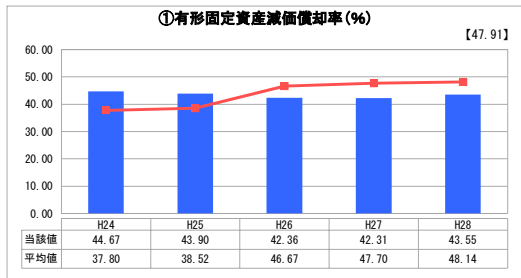


「施設の効率性」

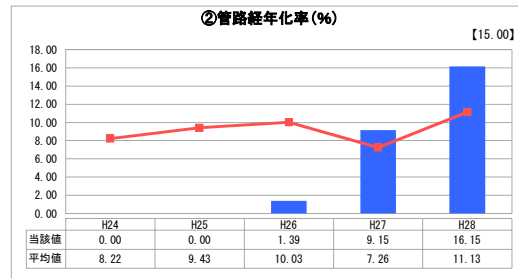


「供給した配水量の効率性」

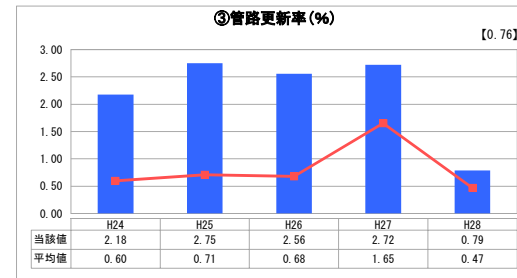
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

累積欠損金がなく、経常収支比率が100%を超えており、経営状況は健全と言える。料金回収率は高く、給水原価は低い状態が維持できている。今後も収納率向上・費用削減に努めている。有収率は安定して高い数値を保っている。引き続き、漏水対策を徹底していく。企業債残高対給水収益比率は、新たな起債をしないため極端に低く、年々減少している。企業債の償還後に耐震化等の工事を行っていく予定である。

2. 老朽化の状況について

毎年、下水道工事や道路整備工事に合わせて老朽管路の更新工事を行っていることから、有形固定資産減価償却率は低く、管路更新率は高くなっていると思われる。管路経年化率は高いため、今後も計画的に管路の更新をしていく必要がある。

全体総括

給水開始から40年以上経過しているため、老朽管路の更新をしていかなければならない。下水道工事や道路整備工事に合わせた効率的な更新工事を今後も継続していく。また、企業債の償還後に大規模団地の布設替工事や配水池の耐震化工事を予定しているため、より一層の経費削減に努め、財源を確保し、計画的に事業を行っていく。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。